



ときわまつ

卯年 飛躍の年

副校長 桐田 裕貴

梅のつぼみが膨らみ始め、遠くから春の足音を感じる二月になります。常盤松小学校の校庭にも、常陸宮殿下・同妃殿下が記念植樹をされた梅があり、毎年、この梅の開花に六年生の巣立ちが近付いていることを実感する人もいます。

皆様も御存知のように、二月は、旧暦で「如月(きさらぎ)」と言います。その名の由来には諸説ありますが、その中に、厳しい寒さに備えて重ね着をする「衣更着(きさらぎ)」が転じたという説があります。重ね着をしがちな今の時期ですが、休み時間になると、子供たちは、鬼ごっこや大縄跳びなど、寒さを吹き飛ばすくらい元気にごんでいます。

今年の立春は、二月四日です。立春がどのような日なのかをあらためて調べてみました。立春は、紀元前の中国で生まれた二十四節気(にじゅうしせつき)における



2023年は、卯年です。「マロン」と共に常盤松も飛躍します!

春の始まりであり、一年の始まりに位置付けられる日です。二十四節気は、太陽の動きに基づいて一年を春夏秋冬の四つの季節に分け、その四つの季節をさらに六つに分けた暦です。そして、四つの季節の最初の日を立春、立夏、立秋、立冬と呼びます。その中でも、二十四節気における一年の終わりにあたる立春の前日が、今も豆まきなど節分の行事を行う大切な日として残っています。常盤松小学校では、二月三日、節分の日の給食で恵方巻を出します。二〇二三年の恵方は、「南南東」です。御家庭でも節分など、日本の季節の行事について話題にしてください。と思います。

学校評価について

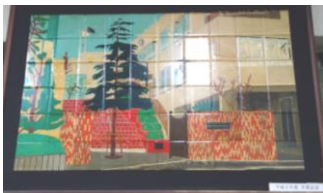
年末のお忙しい時期に保護者の皆様に御協力いただいた学校評価の回答集約が終わりました。二月十八日の学校運営協議会(ときわの会)を経て、結果などについて、皆様にお知らせいたしますが、概略について紹介させていただきます。○は常盤松の教育のよさや成果、☆は改善することにより常盤松の教育がよりよくなることが期待される内容です。

〈よさや成果〉

- 保護者・地域への情報発信
 - 様々な人から学ぶ体験
 - 行事での一人一人の活躍の場
 - 縦割り班活動
 - 心と体の健康を目指した活動
- #### 〈期待と改善点〉
- ☆協働的・対話的な学びの充実
 - ☆タブレット端末のさらなる活用
 - ☆子供たち同士の間関係づくり

今後子供たちの活躍の場、多様な経験や出会いの場を大切にし、おたよりやホームページなどを通して、子供たちの学校生活や学びの様子についてお知らせしていきます。そして、子供たちが未来を生きる姿をイメージして、タブレット端末の活用の工夫と新しい学びの推進、よりよい人間関係を築く力の育成に力を入れていきます。

また、学校評価の自由記述でお寄せいただいた御意見を讀み、常盤松小学校が、保護者や地域の皆様からいかに愛されているかを深く感じました。次年度、開校九十八周年を迎えるにあたり、「常盤松の財産」「常盤松らしさ」についてあらためて考え、教育活動に生かしていくことも常盤松小学校がさらに飛躍することにつながると考えています。校内の至る所に飾られています。卒業制作を見ていると、その時代の子供たちの声が聞こえてくるようです。そこにも大きなヒントがあるように感じています。二〇二三年も、常盤松小学校の教育に御理解と御協力をよろしくお願いいたします。



卒業生の想い、当時の空気、創意工夫の感じられる数々の卒業制作が校内に飾られています。



書き初め会

一月十日(火)

書き初め展 一月十三日(金)

書き初めは平安時代の宮中行事が起源で、事始めとされていた正月二日に新しい年への慶びやお祝いの詩歌などを書いていたことに由来するようです。また、字の上達を願う意味も込められていると言われています。本校でも、毎年この伝統行事に取り組んでおり、今年度も、一・二年生は教室、三年生はランチルーム、四年生以上は体育館で行いました。

一・二年生は硬筆で、姿勢や筆記具の持ち方を正しく、「とめ、はね、はらい」に気を付けて丁寧に書きました。三年生から六年生は毛筆で、文字の組み立て方を理解し、「筆遣い、字の大きさ、字形」に注意して書きました。それぞれの作品は、各学年の廊下に掲示しました。



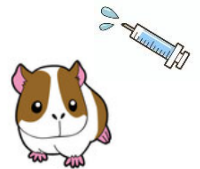
道徳授業地区公開講座

一月十四日(土)

二・三時間目に全学級で道徳の授業を公開しました。テーマは、「親切・思いやり」「生命の尊さ」「友情、信頼」「規則の尊重」です。登場人物になりきって役割演技をしたり、グループで活発に意見を出し合ったりしながら、一人一人がじっくりと考え、学びを深めていきました。

また、体育館では、渋谷区で動物病院を経営しながら動物の保護活動をしている友森玲子さんを講師にお迎えし、保護された動物や保護活動についてのお話を伺いました。子供たちに分かりやすい言葉で動物の写真も見せながらお話しいただき、どの子も興味深く聞いていました。また、動物たちの現状を知り、とても驚いた様子でした。

さらに、四時間目の意見交換会では、保護者の方々にも御参加いただきました。現代社会における、動物保護活動の状況を知ることができ、大変貴重な機会となりました。



五年 社会科見学

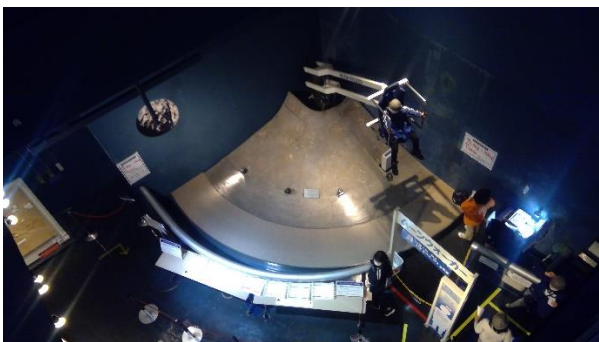
一月十九日（木）

五年生は、N-TT技術史料館と多摩六都科学館、二か所の施設に見学に行きました。

N-TTでは、五年生が社会科で学習する「情報化」について、用意された社会科見学プログラムに則って、電話機の歴史や技術革新等について、体験も交えながら楽しく、興味深く学ぶことができました。

科学館では、社会科に関係した展示物や理学的な展示・体験もあり、こちらも楽しみながら学習できました。

二つの施設とも、当日は他校の予約がなく、待ったり並んだりすることなくたつぷりと見学や体験ができました。



■二月の生活目標■

寒さに負けず工夫して生活しよう

■すこやか目標■

心の健康を考えよう

大寒は過ぎたとは言え、まだまだ寒い日が続きます。ポケットに手を入れたまま歩く姿も多くなつてきています。

子供たちが寒さに負けず、健康な生活を過ごせるよう、外遊びを楽しむことや室温に合わせて服装の調節をすることなどの声掛けをしていきます。服の脱ぎ着のなかで、子供たちが脱いだ服を置き忘れることがしばしばあります。お手数ですが持ち物や上着などへの記名をよろしくお願いいたします。

また二月は、新年を迎え、新たな気持ちで頑張っていたことも、いつの間にかおろそかになりがちな時期でもあります。年初にお子様抱いた願いが実現に向けて進んでいくよう、ぜひ保護者の皆様から子供たちへの声掛け・支援をよろしくお願ひいたします。

今月のすこやか目標は、心の健康を取り上げています。本校には、毎週、スクールカウンセラーが来校しております。お子様だけでなく、保護者の方もご利用できます。お子様のことで心配なことがあるとき、カウンセラーに話すことよって考えを整理したり、違う視点からの意見を聞くことでゆとりが生まれたりすることもあります。ぜひ気軽に相談室を御利用下さい。なお御利用の際は電話や連絡帳での予約を入れていただきますようお願い致します。

特別支援教室「ゆずりは」

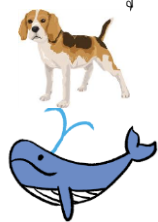
◆聞くトレーニング◆



私たちが新たな情報を得たり、人と関わったりする時に欠かせないのが「聞く力」です。「聞く力」とは相手の話を集中して聞き、内容を正しく理解する力のことです。ゆずりは教室では、その力をつけるために指導の中で「聞くトレーニング（聞くトレ）」を取り入れています。活動の一つを紹介します。

『スリーヒントクイズ』

イメージしやすい身近なことをばを題材に最後まで集中して聞き、意味と一致するこ



① 犬より大きな動物です

② 海で生活しています

③ しおをふきます

では、①で『ゾウ』かな？②で『アザラシ』かも？はじめに聞いた①を忘れてしまうと『アサリ』と

答えてしまうことがあります。日常生活では情報を正確に聞くだけでなく、内容を記憶に留めておくことも大切です。トレーニングをする際には、「聞く姿勢」や聞き逃したときの「援助要請の仕方」についてもあらかじめ説明しておきます。「聞くトレ」を行うことで「集中力」、「想像力」、「語彙力」等が自然に身に付き、指示の理解を深め、日常生活の手助けとなります。

直通電話：〇三三六六・五一〇八

ゆずりは教室 担任 金勝 友恵